

- | | | |
|---|-----------|--|
| 1 | 審議会名 | 令和4年度 第1回黒沢洞合自然公園整備検討委員会 |
| 2 | 日時 | 令和4年7月29日(金) 午後1時30分から午後4時まで |
| 3 | 会場 | 現地会場：黒沢洞合自然公園
会議会場：三郷公民館102会議室 |
| 4 | 出席者 | 浅川委員、中田(昭)委員、窪田委員、那須野委員、沓掛委員、城取委員(現地視察のみ)
中田(信)委員、廣瀬委員、東本委員 |
| 5 | 市側出席者 | 西澤子ども家庭支援課長、山岸、岩淵 |
| 6 | 会議概要作成年月日 | 令和4年8月1日 |

協 議 事 項 等

I 会議の概要

- 1 黒沢洞合公園及び公園拡張予定地の視察
- 2 会長あいさつ
 - － 三郷公民館会議室へ会場を移動 －
- 3 開 会
- 4 辞令交付
- 5 自己紹介
- 6 議 事
 - (1) 前回の検討委員会の懸案事項の報告(資料1)
 - (2) 公園整備の方向性について(資料2)
- 7 その他
- 8 閉 会

II 協議概要

- 1 黒沢洞合公園及び公園拡張予定地の視察

- 2 委員長あいさつ

【浅川委員長】

本日は、大変暑いなか委員の皆様にお集まりいただき、ありがとうございます。
 ここ黒沢洞合自然公園の今度の活用・整備について、検討するという事でお集まりいただきました。
 皆様方の協力のもと進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

－現地視察－

那須野委員の案内により、既存ビオトープ及び拡張整備予定地を視察。

**** 三郷公民館会議室へ会場を移動 ****

- 3 開 会

【事務局：西澤子ども家庭支援課長】

会場を移し、これより第二部の方に移らせていただきたいと思います。

4 辞令交付

【事務局：西澤子ども家庭支援課長】

南小倉区長の交代により新たに中田昭治南小倉区長を黒沢洞合自然公園整備検討委員として委嘱書します。

委員就任挨拶

【中田委員】

今後の検討において皆さんのご意見を聞き、円滑にいくように努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【事務局：西澤子ども家庭支援課長】

議事入る前にこの4月からの組織改編による異動等ございましたので、事務局が新しい顔ぶれになりましたので自己紹介させていただきたいと思っております。

(西澤課長、山岸、岩渕の自己紹介)

5 議事

【事務局】

この後の議事進行につきましては、安曇野市黒沢洞合自然公園整備検討委員会設置要領第6条第1項の規定により、浅川委員長をお願いいたします。

【浅川委員長】

お手元の会議次第に沿って進行させていただきたいと思っております。

まず、議事(1)前回の検討委員会の懸案事項の報告について、事務局より説明をお願いします。

(1) 前回の検討委員会の懸案事項の報告

【事務局】

令和4年3月18日(金)に開催した検討委員会において、保留事項とした案件について説明 **資料1**。

【浅川委員長】

事務局の説明について、質問等ありますでしょうか。

(質問等意見なし)

(2) 公園整備の方向性について

【浅川委員長】

続いて、議事(2)公園整備の方向性について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

資料2に基づき、公園整備計画実施スケジュール(案)について説明。

【浅川委員長】

説明のありました公園整備計画実施スケジュール（案）について委員の皆様何か質問等ご意見ありますでしょうか。

【中田（信）委員】

10月に令和5年度予算編成となっているが、その予算の内容とは？

【事務局】

令和5年度予算編成の予算は、設計に係る予算を考えている。しかし、検討委員会においてもっと時間をかけて整備計画を作るという事であれば変更することは可能である。事務局としては来年設計で公園整備を進めていきたいと考えている。

【浅川委員長】

そのほか質問等無いようですので、公園整備計画実施スケジュールについては、このスケジュールで了承とします。

【浅川委員長】

続いて、**資料2**について、事務局より説明をお願いします。

【事務局：西澤子ども家庭支援課長】

資料2における、公園整備方針についてご意見をいただきたいと思います。なお、事前の資料配布等行っていない事から、本日の会議でご意見を出し切れないことも考慮し、別紙により追加のご意見をいただける様に調書を用意させていただきました。追加の意見があればお手数ではございますが同封の返信用封筒により8/10までにご返送いただければと思います。

(資料2 黒沢洞合自然公園整備方針について説明)

【浅川委員長】

それでは、まず資料2の1「公園整備の基本方針」について委員の皆さんより意見ををお願いします。

【那須野委員】

基本方針については、前回の検討会議において現在既存のビオトープの延長で進めると決定している。

【中田（信）委員】

個人的には、今の公園の延長が良いと考えます。

【窪田委員】

過去の公園整備に携わった子どもたちの3年間の形である現在のビオトープをこのまま継承し、延長した整備としてほしい。

【浅川委員長】

委員の皆様より、「現在のビオトープを継承し延長拡大する形の自然公園」で整備を進めるという意見が多数ですので、その基本方針で進めて良いとしてよろしいでしょうか。

(出席委員の全会一致で承認)

【浅川委員長】

続いて、資料2の2「何のために黒沢洞合自然公園を整備するのか（整備の目的やコンセプト）」について、また関連した内容として資料2の3「公園をどのように活用することが望ましいか」について委員の皆さんより意見ををお願いします。

また、既存の公園の整備は三郷村、これからの延長整備は安曇野市全体を考慮して意見をいただきたいと思えます。

【中田（信）委員】

地元に住み、リンゴ栽培を行う子育て中の親として、先ほど現地で那須野さんの説明を聞き、大変良い経験になった。それと同時にこの場所で虫を採ったり出来る貴重な経験が出来る唯一無二の場所であると感じた。個人的な意見として管理は、住民主体のボランティアで興味がある人を募って運営するのも良いと考えます。

【浅川委員長】

中田委員へお聞きしたいのですが、子ども達はどの範囲から公園を利用するために出向いていますか。

【中田（信）委員】

地元はもちろん、三郷小学校の子ども達は利用していると思う。また、自分の周りでは豊科の友人家族も公園に遊びにきている。

【那須野委員】

黒沢洞合公園はクワガタやカブトが多数集まりやすい空間・スペースが確保されている。木が茂り過ぎているとクワガタやカブトなどの昆虫は集まってこない。

市内には黒沢洞合公園以外に自然公園は4ヶ所（国営公園、長峰山など）があるが、この黒沢洞合自然公園は、間近で虫や植物の観察ができ、そこでの昆虫採取や植物採取を禁じていないという点では貴重な公園と言える。

よって、今のビオトープ公園を延長する形になれば、多種多様な生き物の生息域になっていく。

公園整備の過程でどんな虫に来てほしいかを考え整備する工夫もできる。

【東本委員】

自宅が公園に近い事からよく子ども達が利用している。

黒沢洞合自然公園のように車の騒音など周囲の喧騒から隔絶されその形状から子どもを安全に遊ばせられる自然あふれる環境、公園はなかなか無い。

私自身、今年から“さとぷろ”に参加し、山を地域の人たちが大切に育てるための活動を行っているがこの公園が昔の営みが体験出来るゾーンになれば良いと考えます。

【中田（昭）委員】

都市公園と自然公園の両方の機能を備えた公園が良いと思う。

【窪田委員】

現在の黒沢洞合公園の原点から話をすると、当時の中学生が構想し現在の姿となっている。

その構想では、萱葺屋根の建物と棚田が描かれていた。そうした構想の実現も今後の整備に反映しても良いと思う。

穂高西小学校では、オオルリシジミが多く生息する空間になってほしいという事で、クララを植えた。現在クララが予想に反し大量に増殖したことから、そのクララを有効活用しようと草木染にするなどの取り組みを行っている。そういった取り組みが学習の機会につながっている。

【沓掛委員】

整備に関し、この公園整備に関心を持ってくださる方も多数出てくる事から、クラウドファンディングを行い、多くの方に呼びかけることも良いと思う。また管理したいと思う方（NPO法人）が進んで管理することが良いと考える。

【浅川委員長】

管理を考えるとときに、ボランティアという話が出たが、ボランティアとしては無償、有償かという選択肢がある。現実的な観点でいうと有償で行うことで持続可能なモチベーションにつながると考える。

【那須野委員】

現在議論が公園管理の方に話が進んでいるが、そもそもどんな公園にするかを考えた方が良く、管理は市が責任をもって行う必要があり、植栽の状況にあった管理を行っていくことが重要である。

【廣瀬委員】

整備され過ぎていないのが良い公園、川がコンクリートになっていないのが良いし、自然遊びもできる。

【事務局：西澤子ども家庭支援課長】

もう少し目的やコンセプトを掘り下げてほしい。

例えば、自然を活用した教育、希少種を保護するなど。

【那須野委員】

希少種を増やす目的だけで考える必要はない。いろんな要素を盛り込み多種多様な生き物がやってくる公園が良い。また現在バスで来場し観察会を開催したり、梓川の野外保育事業者は保育フィールドとしても利用されている。

現在の利用している形態を整備に盛り込むことで目的やコンセプトにつながる。

【事務局：西澤子ども家庭支援課長】

議論が資料2の4「市民の皆さんを巻き込んだ、公園整備としたいがどのように考えるのか、どのように進めるべきか」に及んでいる事からこの点もご意見いただきたい。

【浅川委員長】

資料2の4「市民の皆さんを巻き込んだ、公園整備としたいがどのように考えるのか、どのように進めるべきか」についても、委員の皆さんより意見ををお願いします。

【那須野委員】

前回の検討委員の会議において現在の公園は中学生が関わって構想し整備したものであり、今後の拡張整備も子ども達が関わっていくことが良いのではということであった。

また、どんな公園を作るかについては、今回は子どもたちが関わりピオトープ型で整備していくと決まっている。

そこで今度の公園拡張の一案として、南安曇農業高校の環境クリエイト科の学生に構想へ携わっていただくように依頼し、整備事業者と連携し公園デザインを決定していくことで、学生たちは自分たちの学習、卒業研究にそして自分たちが携わったものが具現化することへのモチベーションに繋がる。設計者を選定する際、仕様書の中で、学生達と設計業者がジョイントし、公園デザインを決めるとすることでより現実的、計画的に進めることが出来る。

もう一案としては、子ども達を公募し幅広く意見を聞く方法もあるが、とりまとめが難しい。

中学生がデザインに関わったときは、先生が生徒の意見を聞きとりまとめ設計に落とした。先生の役割がとても大きい。

【中田（信）】

市内の子ども達から、公園デザインを考える子どもを公募し、公園のデザインをその子ども達が考え、決めていくことも良いと思う。

【那須野委員】

中学生がデザインに関わったときは、先生が生徒の意見を聞き、とりまとめ、設計に落とした。先生の役割がとても大きい。高校生であれば先生がその役割を担ってくれると思う。

【廣瀬委員】

保育園に通園する子どもがドングリを拾い、それを育て公園に植えるといった取り組みも良いと思う。

【那須野委員】

以前行った現在の黒沢洞合自然公園整備の反省点は、一気に造り込みを行い過ぎてしまった点である。同時期に植えた木々が同時期に老木となってしまった、今後の整備では少し様子を見ながら造り込んでいく公園とした方がいいと思う。

【浅川委員長】

親子で活用している公園であることから、そうした利用者の思いも公園デザインに反映できたら良いと思う。

【窪田委員】

当初は、デザイン設計において、子ども達が構想したものを設計士汲み取り、それを踏まえ作成したデザイン画を授業の中で披露することで、生徒たちにイメージを共有できる形でデザインを決めていくことが出来たので良かった。今回は具体的にどのように設計士を入れることが可能なのか。

【浅川委員長】

そういうのは仕様書に書き込み設計業者を募集すれば可能なのか。

【事務局：岩淵】

ご意見いただいている内容を実現するため、仕様書にこちらの行いたい条件を明示しその内容を審議し設計業者を選定するプロポーザル方式（事業者提案型）により業者を決定することも可能と考える。

【中田（信）】

なかなか設計業者は体力がいる話ではあるが良い方法と思える。

【浅川委員長】

そうした場合、市民の方の意見は取り入れられるのか。

【那須野委員】

具体的なやり方はいろいろ考えられるが市民の意見を取りまとめ、それを南安曇農業高校の生徒さんがデザインに反映することはできると思う。

【浅川委員長】

資料2の5「公園整備全体でご意見をお願いします」という事で、委員の皆さんより意見をお願いします。

【那須野委員】

南安曇農業高校へこの件は事務局から依頼を行っていくという事で良いか、またその返答によって今後の検討委員会の開催も変わってくると思う。

【浅川委員長】

南安曇農業高校へこの件は事務局から依頼を行っていくという事で良いか。

(反対なし)

今後、事務局より南安曇農業高校へ依頼を行ってください。

【事務局：西澤子ども家庭支援課長】

わかりました。南安曇農業高校へ依頼していきたいと思います。

【浅川委員長】

議事はすべて終了しました。続いて次第「6 その他」について事務局お願いします。

【事務局：西澤子ども家庭支援課長】

先ほど説明させていただきましたが、別紙によりご意見を記載いただき8/10頃までにお配りした返信用封筒にて投函をお願いしたい。

7 閉会